

2010年度第1回オープンクラス（公開講座）

＜スマートエネルギーネットワークと組み込み技術＞

低炭素社会実現の手段として、自然エネルギーや電気自動車などからの電力を安定的にかつ最適に供給するスマートエネルギーシステムが注目を集めています。本公開講座では今注目されているこの新技術と組み込み技術の関係について第一線で活躍している講師が解説します。また、一般社団法人組み込みスキルマネジメント協会（SMA）の部会活動のご紹介と参加のご案内をします。

主催：東海大学専門職大学院組み込み技術研究科

共催：一般社団法人組み込みスキルマネジメント協会

開催日：2010年8月3日（火）

会場：東海大学高輪キャンパス 4号館4202

<http://www.u-tokai.ac.jp/>

東京メトロ南北線・都営地下鉄線三田線 白金高輪下車 徒歩8分

都営地下鉄浅草線「泉岳寺」下車 徒歩10分

定員：170名（無料、できるだけ事前登録をお願いします）

12:30 受付開始

第1部 スマートエネルギー

12:55～13:00 開会のご挨拶 大原茂之（東海大学専門職大学院組み込み技術研究科教授）

13:00～14:00 「分散するインテリジェント電源がつくるスマートなエネルギーシステム」
中村良道（株式会社スマートエナジー研究所 CTO ファウンダー）

14:00～15:00 「モデルベース開発技術を用いたスマートハウスのエネルギー制御開発」
有馬仁志（dSPACE Japan 株式会社 代表取締役社長）

15:00～15:10 休憩

第2部 SMAの部会活動のご説明と参加のご案内

15:10～15:40 「ETSS導入推進部会について」 関口正（SMA幹事）

15:40～16:10 「スキルの形式的評価手法開発部会について」 大原茂之（SMA理事長）

16:10～16:40 「モデルベース（スキル定義）部会について」 有馬仁志（SMA幹事）

第3部 情報交換会とスマートハウス、スターリングエンジンのデモンストレーション

17:00～18:30 4号館地下食堂（会費2,000円）

※ご参加いただける場合、講演会、情報交換会それぞれ事前登録をお願い申し上げます。

登録方法： 事前登録は、下記の Web サイトで可能です。

<http://www.skill.or.jp/>

事務局： 一般社団法人組み込みスキルマネジメント協会事務局（田口）

ご不明点は、下記お問合せページからお願いいたします。

<http://www.skill.or.jp/inquiry.html>

講師のご紹介と講演概要

中村良道氏

(株)スマートエナジー研究所 CTO ファウンダー

芝浦工業大学電気工学科 非常勤講師

福岡スマートハウスコンソーシアム 代表

プロフィール

分散電源（太陽光発電、燃料電池）など、インテリジェントな電源の設計開発におよそ 20 年携わる。その経験をもとに、持続可能な低炭素社会の実現に向けて、エネルギー供給と消費における「自律したシステム」を目指し、「思想と技術」の両面から思索、スマートグリッド関連の企画立案や電源装置のためのコンサルティングを行っている。



講演概要

福岡スマートハウスコンソーシアムで進めている、エネルギーシステム技術について講演する。「エネルギーを創り、蓄積し、賢く使う」を構成単位としてエネルギーを見える化、装置間のエネルギーの流れに関する研究やこれからの規格作りなど、エネルギーの未来についてお話しする。

(アジェンダ)

スマートグリッド グランドビジョン

電源装置間を行き交う「ダイナミックなエネルギーの流れ」

エネルギー制御のための組み込みプロセッサ技術について

有馬仁志氏

dSPACE Japan 株式会社 代表取締役社長

プロフィール

1982 年、国内機器メーカーで制御系システムや TRON の開発を担当。

1993 年よりウィンドリバー社、Integrated Systems 社、米国 SDS 社

など外資系企業の日本法人の上級管理職を歴任。2000 年に MontaVista Software

Japan 社を設立して代表取締役社長へ就任。その後 2006 年 2

月より dSPACE Japan 株式会社の代表取締役社長に就任。



講演概要

モデルベース開発は、電気自動車のモーター制御やバッテリー制御、シミュレータへと応用が広がってきている。この発表では、DC/DC コンバータや、インバータなどデジタル電源制御などスマートハウスのエネルギー制御へ適用する方法について説明する。

(アジェンダ)

モデルベース開発とは？

プロトタイプ開発、HIL シミュレータとは？

車載エレクトロニクスで培った技術をエネルギーマネジメントの世界へ

開発・適用事例